

婦人関係資料シリーズ
調査資料 No. 32.

保存資料
婦人課

風紀についての意識

—意識調査結果報告—

労働省婦人少年局

は し が き

婦人少年局では、売春対策の一環として、昭和36年4月「風紀に関する意識調査」を全国で実施しました。ことに、その結果を刊行しますが、この問題を取り扱う方々に多少でもお役に立てば幸いと存じます。

なお、この調査の実施にあつて、地域の選定並びに対象者の抽出に御援助を賜りました県警察本部、県統計主管課、市区町村役場の方々及び対象にあられた方々に厚くお礼を申し上げます。

昭和37年5月

労働省婦人少年局

目次

は し が き

1. 調査の概要	1
2. 調査の結果	3
(1) 対象者の概況	6
(2) 風紀問題に関する基本的態度	10
① 男女関係についての態度	10
イ 男女の交際が自由になった最近の傾向をどう思うか	10
ロ どんな結婚の仕方がのぞましいと思うか	16
② 婚姻外の性関係に対する態度	22
イ 結婚前の純潔をどう考えているか	22
ロ 夫の女性関係をどう思うか	28
ハ 妻の男性関係をどう思うか	34
ニ 妾をもつことは今後少なくなると思うか	36
ホ 性教育はどこでしたら一番よいと思うか	37
③ 娯楽選択についての傾向	38
イ 接客業に従事する女性は今後ふえると思うか	38
ロ 性問題を露骨に取扱った週刊誌や映画はどのような人によくみられていると思うか	47
④ 売春問題に対する態度	51
① 女子の売春行為について	51
イ どういう理由で売春をするようになったと思うか	51

ロ 売春をすることをどう思うか	52
ハ 子供の養育のため売春することをどう思うか	56
ニ 病気や失業の夫・親を養うため売春することをどう思うか	57
ホ 売春婦を更生させることは困難なことだと思うか	59
② 男子の女遊びについて	61
イ 売春婦と遊ぶことをどう思うか	61
ロ 売春婦と遊ぶ男子はどのような人が多いと思うか	68
ハ 女遊びの動機はなにか	69
(4) 売春防止法に対する関心	73
① 売春防止法に対する知識	73
② 処罰規定に対する態度	76
イ 売春婦の処罰規定についてどう考えているか	76
ロ 売春の相手方の処罰についてどう考えているか	77
③ 法の施行効果についての判断	78
イ 赤線地帯のなくなった今の形ともとの形ではどちらがよいと思うか	78
ロ 法施行後性病がふえたと思うか	80
ハ 法施行後性犯罪がふえたと思うか	81
ニ 法施行後風紀が悪くなったと思うか	82
(6) 売春問題の将来に対する判断	84
① 売春行為は今後少なくなると思うか	84
イ 取締りを強化すればどうか	88
ロ 経済がもつと豊かになればどうか	89

ハ	男女の交際がもつと自由になればどうか	9.0
ニ	人権尊重の思想がもつと徹底すればどうか	9.0
ホ	社会保障がもつと進んだらどうか	9.1

1 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、風紀に関する諸問題についての一般男女の考え方を把握し、売春防止対策を考える上の参考に資することを目的として実施したものである。

(2) 調査事項

- イ 風紀問題に関する基本的態度
- ロ 売春問題に対する態度
- ハ 売春防止法に対する関心
- ニ 売春問題の将来に対する判断

(3) 調査地域及び調査対象者

- イ 調査地域 全国92カ所、各県2カ所

各県とも売春行為が発生しやすい環境にあるとみられる問題地域1カ所、問題地域から隔絶されている住宅地域（都市計画法によつて指定されている住居地域の中から選んだ（後述））1カ所計2カ所を選定した。

問題地域については、警察庁の意見も参考の上、県の実情に応じて、それぞれ駐留軍基地、温泉観光地、銀座街のいずれか1カ所を指定し、さらに、指定地域から1地区を選び調査該当地域とした。住宅地域については、都市計画法によつて指定されている住居専用地区（住居専用地区の指定がなされていない都市は住居地域）の中から、「勤め人・労働者世帯」の割合が最も高い1地区（町又は丁）を選び調査該当地域とした。

- ロ 調査対象者 満20才以上満60才未満の男女2,900名（男女各

145名)、但し回収数2720名(男93.6%、女94.0%)

対象者は調査該当地域の住民票から無作為抽出によつて選定した。な
お、抽出にあつては、特に、風俗営業または旅館業の業主・家族及び
従業員は除外した。

ハ 調査方法 訪問面接聴取法

ニ 調査期日 昭和36年4月

ホ 調査担当者 婦人少年室職員、同婦人問題相談員及び協助員

2 調査の結果

(1) 対象者の概況

年齢 対象者の年齢分布は第1表に示すとおり、問題地域の男を除い
てはいずれも30才台が最も多く(31%—33%)、ついで40才台
(23%—28%)、20才台(22%—24%)、50才台(16%—
21%)である。なお、問題地域の男では40才台(29%)が30才台
(27%)をやや上廻つており、ついで20才台、50才台が同率の22
%をしめている。

第1表 地域別、男女別、年齢別対象者

地域別 年齢別	問題地域			住宅地域		
	計	男	女	計	男	女
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
総 数	100 (1,361)	100 (678)	100 (683)	100 (1,359)	100 (679)	100 (680)
20才——24才	11	11	11	9	9	10
25才——29才	12	11	13	13	13	14
30才——34才	14	14	13	17	18	16
35才——39才	16	13	18	16	15	16
40才——49才	28	29	28	25	23	27
50才——59才	19	22	17	19	21	16
不 明	※	—	※	1	※	1

注 1 () 内の数字は実数である。

2 ※印は1%未満を示す。

学歴 対象者を学歴別にみると、第2表のとおり、住宅地域の男を除いては、各地域の男女いずれも旧中・新制高校程度のものが最も多く（4.1％—6.0％）、小学・新制中学の義務教育程度（2.6％—4.6％）がこれにつき、旧高専・短大程度以上は6.9％—18.2％である。なお、住宅地域の男は旧高専・短大程度以上が最も多く（4.0％）、ついで旧中・新制高校程度（3.5％）、小学・新制中学程度（2.4％）となっており、他の対象者にくらべて教育程度は高い。

第2表 地域別、男女別、学歴別対象者

学歴別	地域別 男女別	問題地域			住宅地域		
		計	男	女	計	男	女
総 数		(%) 100 (1361)	(%) 100 (678)	(%) 100 (683)	(%) 100 (1359)	(%) 100 (679)	(%) 100 (680)
小 学		6 (8)	4 (6)	8 (12)	5 (7)	5 (7)	5 (7)
高 小		30 (41)	29 (43)	30 (44)	16 (22)	17 (25)	16 (23)
新 制 中		7 (10)	7 (10)	8 (12)	4 (5)	2 (3)	5 (7)
旧 中		32 (44)	29 (43)	36 (53)	35 (48)	25 (37)	45 (66)
新 制 高		12 (16)	12 (18)	11 (16)	12 (16)	10 (15)	15 (22)
旧 高 専		6 (8)	8 (12)	3 (4)	11 (15)	14 (21)	8 (12)
短 大		1 (1)	1 (1)	2 (3)	3 (4)	2 (3)	3 (4)
新 制 大		2 (3)	3 (4)	1 (1)	8 (11)	13 (19)	2 (3)
旧 制 大		3 (4)	6 (9)	—	5 (7)	11 (16)	—
不 明		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)

注 ()内の数字は実数である。

職業 対象者を職業別にみると、第3表のとおり、問題地域の男では業主が最も多く（5.6％）、ついで被傭者（3.8％）、無職者（3.3％）、その他（2.2％）、学生（1.1％）の順となっており、女では無職者が最も多く（4.6％）、業主（3.2％）、被傭者（1.7％）、その他（1.4％）、学生（1.1％）の順となっている。住宅地域の男では被傭者が最も多く（6.8％）、業主（2.3％）がこれにつき、他は学生（3.3％）、無職（3.3％）、その他（3.3％）となっており、女では過半数（6.7％）が無職者で、他は被傭者（1.9％）、業主（9.9％）、その他（3.3％）、学生（1.1％）の順である。

以上のとおり、職業分布には地域差がみられ、男女いずれも、問題地域は住宅地域にくらべ業主は多く、被傭者は少ない。

なお、学生は住宅地域に多い。

業主ならびに被傭者を職種別にみると、前者では商工鉦従事者が多く、後者は職員が多い。

第3表 地域別、男女別、職業別対象者

職業別	地域別 男女別	問題地域			住宅地域		
		計	男	女	計	男	女
総数		(%) 100 (1361)	(%) 100 (678)	(%) 100 (683)	(%) 100 (1359)	(%) 100 (679)	(%) 100 (680)
業主		43	55	32	16	23	9
農林漁		2	2	3	1	1	1
商工鉱		31	40	22	9	13	6
その他		10	13	7	6	9	2
被備者		27	38	17	43	68	19
職員		15	21	9	33	53	13
労務		12	17	8	10	15	6
学生		1	1	1	2	3	1
無職		25	3	46	36	3	67
その他		3	2	4	3	3	3
不明		1	1	—	—	—	1

注 () 内の数字は実数である。

無職者の女について、その世帯主の職業をみると、問題地域では業主(5.1%)が最も多く、住宅地域では被備者(6.9%)が最も多い。(第4表参照)

第4表 女無職者の世帯主の職業

職業別	無職者(女)総数	問題地域	住宅地域
総数	(%) 100 (774)	(%) 100 (314)	(%) 100 (460)
業主	53	51	21
農林漁	1	3	—
商工鉱	17	29	9
その他	15	19	12
被備者	57	38	69
職員	43	22	57
労務	14	16	12
無職	8	7	8
その他	2	3	1
不明	1	1	1

注 () 内の数字は実数である。

結婚状態 対象者を結婚状態別にみると、第5表のとおり、対象者の9割近く(83.3%—87.7%)が既婚者で、未婚者は2割(12.2%—17.7%)にみえない。既婚者では、その殆んど(対象者総数に対して71.1%—81.1%)が配偶者と同居しているもので、配偶者と別居、離別及び死別しているものは1割にみえない(但し、問題地域の女は1割強)。

これを地域別、男女別にみると、問題地域、住宅地域いずれも男より女の方が既婚者の率は高いが、配偶者と同居しているものの率は低くなっている。

第5表 地域別、男女別、結婚状態別対象者

結婚状態別	地域別 男女別	問題地域			住宅地域		
		計	男	女	計	男	女
総数		(%) 100 (1,361)	(%) 100 (678)	(%) 100 (683)	(%) 100 (1,359)	(%) 100 (679)	(%) 100 (680)
既婚		84	83	85	86	83	87
配偶者と同居		76	81	71	80	81	78
配偶者と別居		1	—	2	1	1	1
離別		2	1	3	1	—	1
死別		5	1	9	4	1	7
未婚		16	16	15	14	17	12
不明		—	1	—	—	—	1

注 () 内の数字は実数である。

家庭の環境 家族（本人を含む）の職業が教育、宗教、警察関係など特に指導的な立場にあるものが約1割あり、その職業の内容は第6表のとおり、教育家が最も多く、他は宗教家、警察官、民生委員、保護司などである。

第6表 対象者家庭の特殊職業従事状況

特殊職業別	地域別 男女別	問題地域			住宅地域		
		計	男	女	計	男	女
特殊職業従事者をもつ対象者数		(%) 100 (126)	(%) 100 (68)	(%) 100 (58)	(%) 100 (178)	(%) 100 (89)	(%) 100 (89)
教育家		22	15	51	62	51	73
宗教家		12	13	10	4	6	2
警察官		6	9	3	7	8	7
民生委員		8	10	5	3	1	5
児童委員		3	4	2	1	—	1
保護司		1	2	—	3	3	2
入権保護委員		1	—	2	1	1	—
その他		54	56	52	22	30	14

注1 () 内の数字は実数である。

2. 1つの家庭内に2人以上の特殊職業従事者のいた場合はそれぞれ該当欄に算入した。したがって合計は100%をとえる。

また、対象者家庭の生活程度を生活費からみると、第7表のとおり、独り暮らしでは9割近くが1万円前後から2万円未満、2人～3人世帯では7割～8割近くが2万円前後から3万円未満、4人～5人世帯では6割強が3万円前後から4万円未満、6人以上の世帯では6割近くが3万円前後から5万円未満の階層である。

第7表 対象者家庭の生活程度

生活費別	家族数別	計	独り暮らし	2人	3人	4人	5人	6人以上	不明
	数	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
総	数	100	100	100	100	100	100	100	100
		(2720)	(130)	(244)	(495)	(643)	(537)	(653)	(13)
10,000円未満		3	36	5	3	1	1	1	8
10,000円 - 19,999円		20	51	47	31	18	9	6	8
20,000円 - 29,999円		30	5	29	37	41	31	18	—
30,000円 - 39,999円		22	1	9	17	22	30	30	8
40,000円 - 49,999円		8	1	2	3	8	9	15	8
50,000円 - 59,999円		5	—	2	3	3	8	11	—
60,000円 - 69,999円		2	—	—	—	1	2	4	8
70,000円以上		2	—	—	—	1	1	5	—
回 答 な し		8	6	6	6	5	9	10	60

注 () 内の数字は実数である。

(2) 風紀問題に関する基本的態度

① 男女関係についての態度

イ、男女の交際が自由になった最近の傾向をどう思うか。

最近は一様に若い人達の交際が相当自由になり、交際の路も広まっているようであるが、こうした傾向をどう考えているかについてみると、男女とも「好ましい」と考えているものが過半数(男58%、女51%)で最も多い。ついで多いのは「一概にいけない」と考えているものである(男31%、女33%)をしめている。なお、「困ったものだ」と考えているものは1割に満たない(男女いずれも6%)。(第8表(1)参照)

以上の考え方については地域差がみられ、問題地域では「好ましい」と考えているものが男51%、女48%で、住宅地域の男64%、女54%に比べて約1割低い。また、逆に「困ったものだ」と考えているものは、問題地域では男8%、女7%で、住宅地域(男女とも5%)に比べてやや多くなっている。

なお、「一概にいけない」と考えているものは、住宅地域(男26%、女32%)より問題地域(男36%、女34%)に多い。(第8表(1)参照)

また、年齢別では、第8表(2)のとおり、年齢が低くなる程「好ましい」と考えているものが多く、年齢が高くなる程「困ったものだ」と考えているものが多くなっている。なお、「一概にいけない」と考えているものは30才台、40才台に多い。

学歴別では、学歴の高いもの程「好ましい」と考えているものが多く、「困ったものだ」と考えているものは少なくなっている。なお、「一概にいけない」の回答者は旧中・新制高校卒以下に多い。(第8表(3)参照)

第8表 男女交際の自由な傾向をどう思うか

(1) 男女別、地域別

男女別	地域別	総 数		好ましい	困つたものだ	一概にいえない	わからない	無回答
		実数	%					
男	総 数	1357	100	58 [%]	6 [%]	31 [%]	5 [%]	※
	問題地域	678	100	51	8	36	5	※
	住宅地域	679	100	64	5	26	5	※
女	総 数	1363	100	51 [%]	6 [%]	33 [%]	10 [%]	※
	問題地域	683	100	48	7	34	11	※
	住宅地域	680	100	54	5	32	9	※

注 ※は1%未満を示す。

(2) 男女別、年齢別

男女別	年齢別	総 数		好ましい	困つたものだ	一概にいえない	わからない	無回答
		実数	%					
男	総 数	1357	100	58 [%]	6 [%]	31 [%]	5 [%]	※
	20才-24才	137	100	66	2	26	6	—
	25才-29才	163	100	66	1	28	4	1
	30才-39才	413	100	60	3	32	5	※
	40才-49才	345	100	50	8	38	4	—
	50才-59才	297	100	54	13	27	6	—
	不 明	2	100	—	—	50	50	—
女	総 数	1363	100	51	6	33	10	※
	20才-24才	143	100	59	—	31	10	—
	25才-29才	184	100	60	1	29	10	—
	30才-39才	432	100	50	6	35	10	※
	40才-49才	377	100	48	6	35	10	1
	50才-59才	221	100	48	14	28	10	※
	不 明	6	100	—	17	50	33	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 男女別、学歴別

男女別	学歴別	回答	総数		好ましい	困ったものだ	一概にいいない	わからない	無回答
			実数	%					
男	総数		1,357	100	58	6	31	5	※
	小・高小・新中		436	100	50	9	32	9	—
	旧中・新高		509	100	55	7	34	4	—
	旧高専・短大以上		396	100	69	2	26	2	—
	不明		16	100	44	13	37	6	—
女	総数		1,363	100	51	6	33	10	※
	小・高小・新中		488	100	42	8	35	15	※
	旧中・新高		730	100	53	6	33	8	※
	旧高専・短大以上		131	100	72	2	24	2	—
	不明		14	100	50	—	29	21	—

注 ※印は1%未満を示す。

一方、実際に親しい異性の友人をもっている対象者がどの程度あるかをみると、第9表のとおり、親しく友人として交際している異性は「ない」と答えているものが7割強（男73%、女79%）で、「ある」と答えているものは2割前後（男23%、女18%）にすぎない。

これを年齢別にみると、男女いずれも年齢が低くなる程「ある」と答えているものが多く、逆に年齢が高くなる程「ない」と答えているものが多くなっている。従って「ある」「ない」両者の比率の差はおおむね年齢が低くなる程小さく、年齢が高くなる程ひらきが大きくなっている。

第9表 親しく友達つきあっている異性があるか

(男女別、年齢別)

男女別 年齢別	回答	男					女				
		総数		ある	ない	回答なし	総数		ある	ない	回答なし
		実数	%				実数	%			
総数		1,359	100	23	73	4	1,363	100	18	79	3
20才-24才		137	100	43	48	9	143	100	39	57	4
25才-29才		163	100	36	61	3	184	100	20	77	3
30才-39才		413	100	22	75	3	432	100	14	84	2
40才-49才		345	100	16	81	3	377	100	16	81	3
50才-59才		297	100	18	79	3	221	100	11	85	4
不明		2	100	—	100	—	6	100	17	83	—

異性の友人をもっているものについて、その知り合った範囲をみると、「職場の友達」が約3割（男34%、女27%）で最も多く、「家庭の知り合い」約2割（男21%、女26%）がこれについて

多くなっている。他は「グループ仲間」「近隣の知り合い」「学校の友達」「勤務先の知り合い」などがあげられている。(第10表参照)

第10表 異性の友達と知り合った範囲 (男女別)

(異性友達が「ある」と答えたものについて)

回答 男女別	総 数		(範囲 知り合った 総数)	職場の 友達	学校の 友達	近 の 知 り 合 い	グ ル ー プ 仲 間
	実 数	%					
総 数	554	100	125%	31%	12%	14%	17%
男	313	100	133	34	13	13	16
女	241	100	115	27	11	16	17

用務 先 の 知 り 合 い	旅 行 先 の 知 り 合 い	会 合 の 知 り 合 い	遊 興 先 の 知 り 合 い	家 庭 の 知 り 合 い	そ の 他	回 答 な し
12%	1%	4%	2%	23%	6%	3%
17	1	5	4	21	6	3
7	※	3	—	26	6	2

注 ※印は1%未満を示す。

ロ どんな結婚の仕方がのぞましいと思うか。

子供を結婚させる場合どんな結婚の仕方がのぞましいを考えているかについて既婚男女から回答をもとめたところ、男女いずれも「交際結婚」と答えているものが最も多く(男41%、女49%)。ついで「恋愛結婚」(男26%、女25%)、「どれでもよい」(男

24%、女18%)の順で、「見合い結婚」と答えているものは1割にみだない(男8%、女7%)。(第11表(1)参照)

この傾向は地域別にみても同様であるが、その回答のそれぞれについて地域差をみれば、問題地域は住宅地域にくらべて「恋愛結婚」をのぞむものはやや少なく、「見合い結婚」、「交際結婚」をのぞむものはやや多くなっている。(第11表(1)参照)

年齢別では、男女いずれも年齢が低くなる程「恋愛結婚」をのぞむものが多く、「交際結婚」、「見合い結婚」をのぞむものは少なくなっている。ことに25才から29才の男及び20才から24才の女では「恋愛結婚」をのぞむものが最も多く(4割前後)、「交際結婚」をのぞむものはこれにつき(3割前後)、「見合い結婚」は1割をはるかに下回っている。

なお、「どれでもよい」というものについてはあまり年齢差がみられない。(第11表(2)参照)

第11表 のぞましい結婚の仕

(1) 男女別

男女別 回 答 年 令 別		男				
		總 數		恋愛結婚	見合結婚	交際結婚
		実 數	%			
既婚者總數		1,129	100	26%	8%	41%
問題地域		563	100	24	10	42
住宅地域		566	100	28	6	39

方一子供を結婚させる場合

地域別

		女						
どよ れで もい	無 回 答	総 数		恋愛結婚	見合結婚	交際結婚	どよ れで もい	無 回 答
		実 数	%					
24	1	1,172	100	25	7	49	18	1
22	2	580	100	22	9	50	17	2
26	1	592	100	28	5	47	19	1

(2) 男女別

男女別 回 答		男				
		總 数		戀愛結婚	見合結婚	交際結婚
		実 数	%			
既婚者總数		1,129	100	26	8	41
20才-24才		7	100	27	14	29
25才-29才		96	100	39	5	28
30才-39才		289	100	32	6	36
40才-49才		341	100	22	8	47
50才-59才		294	100	18	13	45
不 明		2	100	50	—	50

年齢別

		女						
どよ れで もい	無 回 答	総 数		恋愛結婚	見合結婚	交際結婚	どよ れで もい	無 回 答
		実 数	%					
24	1	1,172	100	25	7	49	18	1
26	—	37	100	46	3	35	13	3
27	1	141	100	35	1	47	16	1
25	1	402	100	29	5	49	17	—
23	※	371	100	20	8	51	19	2
23	1	216	100	19	14	47	17	3
—	—	5	100	20	20	20	40	—

注 ※印は1%未満を示す。

また、自分が結婚するとしたらどんな結婚の仕方がのぞましいと
 考えているかについて未婚男女から回答をもとめたところ、男では
 「恋愛結婚」と答えているものが最も多く（40%）、ついで「
 交際結婚」（31%）、「どれでもよい」（21%）で、「見合結
 婚」は1割に満たない（6%）。女では「交際結婚」と答えている
 ものが最も多く（37%）、ついで「恋愛結婚」（28%）、「ど
 れでもよい」（21%）、「見合結婚」（9%）の順となっており、
 女は男にくらべて「恋愛結婚」よりむしろ「交際結婚」（見合いを
 したのち交際してから結婚する）をのぞましいと考えているものが
 多い。（第12表参照）

これを地域別にみると、男では、「恋愛結婚」と答えているもの
 は問題地域（38%）より住宅地域（42%）に多く、「交際結婚」
 と答えているものは住宅地域（26%）より問題地域（35%）に
 多くなっている。女では、「恋愛結婚」が住宅地域（25%）より
 問題地域（29%）に多く、「交際結婚」は問題地域（36%）よ
 り住宅地域（39%）に多い。なお、「見合結婚」をのぞむものは
 男女いずれも殆んど地域差がない。（第12表(1)参照）

年齢別では、第12表(2)のとおり、年齢の低いもの程「恋愛結婚」
 をのぞむものが多く、年齢の高いもの程「交際結婚」をのぞむもの
 が多い傾向をみせている。すなわち、20才から24才台では男女
 いずれも「恋愛結婚」が最も多く（男45%、女37%）、「交際
 結婚」（男25%、女32%）がこれについている。25才から29
 才になると男では、「恋愛結婚」（37%）が「交際結婚」（34%）
 をやや上回っているが、女では「交際結婚」が5割強（53%）

をしめており、2割弱（19%）をしめる「恋愛結婚」とは相当の
 開きがある。さらに30才台以上になると50才台の男を除けば、
 男女いずれも「交際結婚」が最も多く（男50%—52%、女25%—
 35%）、ついで「どれでもよい」、「恋愛結婚」の順となつて
 おり、「恋愛結婚」と「交際結婚」との差は大きくなっている。

第12表 のぞましい結婚の仕方 —あなたが結婚するとしたら—

(1) 男女別、地域別

男女別	地域別	回 答		恋 愛 結 婚	見 合 結 婚	交 際 結 婚	ど れ 也 好 い	無 回 答
		総 数	%					
男	未婚者数	224	100	40%	6%	31%	21%	2%
	問題地域	111	100	38	5	35	19	3
	住宅地域	113	100	42	6	26	24	2
女	未婚者数	185	100	28	9	37	21	5
	問題地域	102	100	29	9	36	22	4
	住宅地域	83	100	25	8	39	22	6

(2) 男女別、年齢別

男女別	回 答 年 令 別	総 数		恋愛結婚	見合結婚	交際結婚	どれでもよい	無回答
		実数	%					
男	未婚者総数	224	100	40%	6%	31%	21%	2%
	20才-24才	129	100	45	8	25	22	—
	25才-29才	67	100	37	5	34	19	5
	30才-39才	23	100	22	—	52	22	4
	40才-49才	2	100	—	—	50	50	—
	50才-59才	3	100	33	—	—	33	34
女	未婚者総数	185	100	28	9	37	21	5
	20才-24才	106	100	37	8	32	21	2
	25才-29才	43	100	19	9	53	19	—
	30才-39才	29	100	14	10	35	31	10
	40才-49才	4	100	—	—	25	25	50
	50才-59才	3	100	—	—	33	—	67

② 婚姻外の性関係に対する態度

イ 結婚前の純潔をどう考えているか。

結婚前には男も女も純潔を守るべきだと思うかの質問に対する回答をみると、「男も女も守るべきだ」が男65%、女80%、「守れたら守った方がよい」男27%、女17%で、対象者の9割以上が純潔を守った方がよいと考えている。しかし、残りの1割にみたない対象者のなかには「そうは思わない」(男2%、女1%未満)

すなわち結婚前の純潔は守らなくともよいというものや、「女は守るべきだが男は守らなくともよい」(男4%、女2%)、というものがみられた。(第13表(1)参照)

これらの考え方については殆んど地域差はみられないが、しいていえば、「男も女も守るべきだ」と考えているものは問題地域(男65%、女77%)より住宅地域(男66%、女84%)に多く、「守れたら守った方がよい」は住宅地域(男23%、女14%)より問題地域(男29%、女19%)に多い。(第13表(1)参照)

年齢別では、第18表でしめすとおり、「男も女も守るべきだ」と考えているものは年齢が高くなるほど多く、「守れたら守った方がよい」と考えているものは年齢が低くなるほど多くなっている。なお、「そうは思わない」、「女は守るべきだが男は守らなくともよい」では殆んど年齢差がないが、しいていえば30才台以上より20才台の方にそのような考え方をするものが多い。(第13表(2)参照)

また、これらの考え方について20才から24才の就業者と学生についてみると、男と女ではその考え方が異なっており、男では、「男も女も守るべきだ」と考えているものは就業者(44%)より学生(52%)に多く、「守れたら守った方がよい」は学生(22%)より就業者(43%)に多い。女では「男も女も守るべきだ」と考えているものは学生(60%)より就業者(80%)に多く、「守れたら守った方がよい」は就業者(15%)より学生(30%)に多くなっている。なお、「そうは思わない」と考えているものは男女とも就業者にはみられるが学生には全くみられなかった。(第13

表(3)参照)

さらに、男女の交際が自由になった最近の傾向に対する態度別にみると、この傾向を否定的な目でみているものには「男も女も守るべきだ」と答えているものが圧倒的に多く（男83%、女89%）、この傾向を肯定的な目でみているもの（男63%、女79%）より2割も多い。「そうは思わない」、「女は守るべきだが男は守らなくともよい」については殆んど差がみられない。なお男女交際が自由になった傾向に対して「一概にいけない」と答えているものの考え方は自由になった傾向を肯定しているものと殆んど同じである。

(第13表(4)参照)

第13表 結婚前には純潔を守るべきか

(1) 男女別、地域別

男女別	地域別	回答	総数		男も守るべきだ	守れた方がよい	そうは思わない	女は守るべきだが男は守らなくともよい	わからない	無回答
			実数	%						
男	総数		1357	100	65%	27%	2%	4%	2%	※%
	問題地域		678	100	65	29	1	3	2	※
	住宅地域		679	100	66	26	3	4	1	—
女	総数		1363	100	80	17	※	2	1	※
	問題地域		683	100	77	19	※	2	2	※
	住宅地域		680	100	84	14	※	1	1	—

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 男女別、年齢別

男女別	年齢別	回答	総数		男も守るべきだ	守れた方がよい	そうは思わない	女は守るべきだが男は守らなくともよい	わからない	無回答
			実数	%						
男	総数		1357	100	65%	27%	2%	4%	2%	※%
	20才-24才		137	100	45	38	3	6	8	—
	25才-29才		163	100	49	38	4	5	3	1
	30才-39才		413	100	65	29	2	3	1	—
	40才-49才		345	100	70	24	2	3	1	※
	50才-59才		297	100	76	18	1	4	1	—
	不明		2	100	100	—	—	—	—	—
女	総数		1363	100	80%	17%	※%	2%	1%	※%
	20才-24才		143	100	77	18	1	2	2	—
	25才-29才		184	100	73	24	—	2	1	—
	30才-39才		432	100	80	17	※	1	2	1
	40才-49才		377	100	83	15	—	2	※	—
	50才-59才		221	100	85	10	—	2	2	—
	不明		6	100	83	17	—	—	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 男女別、職業別

職業別 回 答		男女別		男				
		総数		男も女も守るべきだ	守れたら守った方がよい	そうは思はない	女だけが守るべきだ	
		実数	%					
20才-24才対象者総数		137	100	45%	38%	3%	6%	
就業者		107	100	44	43	3	6	
学生		23	100	52	22	—	4	
無業・その他		7	100	43	14	14	14	

(20才-24才の対象者について)

わからない	女						わからない	
	総数		男も女も守るべきだ	守れたら守った方がよい	そうは思はない	女だけが守るべきだ		女は男と守るべきだ
	実数	%						
8%	143	100	76%	18%	2%	2%	2%	
4	84	100	80	15	2	—	3	
22	10	100	60	30	—	—	10	
15	49	100	74	22	—	4	—	

(4) 男女別、男女交際が自由

態度別		男女別		男					
		回		男も女も守るべきだ	守れたら守った方がよい	そうは思はない	女だけが守るべきだ	女は男と守るべきだ	わからない
		総数	%						
総数		1357	100	65%	28%	2%	4%	2%	
好ましい		779	100	63	28	3	4	2	
困つたものだ		84	100	83	14	—	3	—	
一概にいけない		424	100	65	28	2	3	2	
わからない		68	100	65	27	1	4	3	
不明		2	100	50	—	—	—	—	

になつた最近の傾向に対する態度別

無 回 答	女								
	総 数		男も女も守るべきだ	守れたら守った方がよい	そうは思はない	女だけが守るべきだ	女は男と守るべきだ	わからない	無 回 答
	実 数	%							
※%	1,363	100	80%	17%	※%	2%	1%	※%	
※	695	100	79	18	※	2	1	※	
—	80	100	89	9	—	2	—	—	
※	445	100	82	15	—	2	1	—	
—	139	100	77	18	—	1	4	—	
50	4	100	100	—	—	—	—	—	

注 ※印は1%未満を示す。

ロ 夫の女性関係をどう思うか。

夫が妻以外の女性と関係をもつことをどう思うかの質問に対して「絶対にいけない」と答えているものが男74%、女86%、「別にかまわない」が男14%、女6%で、対象者の8割前後が養育者が他の女性と関係をもつことに対してきびしい批判をしている。

(第14表(1)参照)

これらの考え方は地域別にみても大差ないが、しいていえば問題地域は住宅地域にくらべて「絶対にいけない」と考えているものはやや少なく、「別にかまわない」と考えているものがやや多い。

(第14表(1)参照)

年齢別にみると、「絶対にいけない」と答えているものの最も多い層は、男では50才台、女では40才台、最も低い層は男では25才から29才、女では20才から24才で、比較的年齢の高いものに「絶対にいけない」と考えているものが多い。

また、「別にかまわない」と考えているものについては女では年齢差が殆んどみられないが、男では20才から24才が1割未満で他の年齢層1.5割前後にくらべてその比率は低い。(第14表(2)参照)

職業別に地域差をみると、第14表(3)に示すとおり、業主では問題地域より住宅地域の方が「絶対にいけない」と答えているものが多く、「別にかまわない」と答えているものは少なくなっている。被働者では職員と労務者と異なっており、職員では問題地域の方が住宅地域より「絶対にいけない」と答えているものが多く、「別にかまわない」と答えているものは少ない。労務者では問題地域より

住宅地域に「絶対にいけない」と答えているものが多く、「別にかまわない」と答えているものは少ない。また、学生では住宅地域より問題地域の方が「絶対にいけない」と答えているものが多く、「別にかまわない」と答えているものは少なくなっている。(第14表(3)参照)

未婚者別にみると、「絶対にいけない」と答えているものは未婚者より既婚者に多く、「別にかまわない」と答えているものは既婚者、未婚者とも大体同じである。(第14表(4)参照)

男女交際が自由になった最近の傾向に対する態度別では、殆んど考え方の差がみられないが、しいていえば、この傾向に対して肯定的な見方をしているものより否定的な見方をしているものの方が「絶対にいけない」と答えているものが多い。(第14表(5)参照)

第14表 夫の女性関係をどう思うか

(1) 男女別、地域別

男女別	地域別	総 数		絶対に いけない	別に かまわない	わから ない	無 回 答
		実数	%				
男	総 数	1,357	100	74%	14%	10%	2%
	問題地域	678	100	74	15	10	1
	住宅地域	679	100	75	14	9	2
女	総 数	1,363	100	86%	6%	8%	2%
	問題地域	683	100	83	7	9	1
	住宅地域	680	100	87	6	7	1

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 男女別、年齢別

年 令 別	回 答 別	男					
		総 数		絶対に いけない	別に かまわない	わ か ら な い	不 明
		実数	%				
総 数		1357	100	74%	14%	10%	2%
20才-24才		137	100	72	9	18	1
25才-29才		163	100	68	17	13	2
30才-39才		413	100	74	15	10	1
40才-49才		345	100	75	15	8	2
50才-59才		297	100	79	13	7	1
不 明		2	100	100	—	—	—

女						
総 数		絶対に いけない	別に かまわない	わ か ら な い	不 明	
実数	%					
1363	100	86%	6%	8%	—	—
143	100	76	8	15	1	—
184	100	86	7	6	1	—
432	100	87	6	7	—	※
377	100	88	6	6	—	※
221	100	85	6	9	—	※
6	100	75	—	25	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 地域別、職業別

職 業 別	回 答 別	問 題 地 域					
		総 数		絶対に いけない	別に かまわない	わ か ら な い	無 回 答
		実数	%				
総 数		1361	100	78%	11%	10%	1%
業主		589	100	78	12	9	1
被 傭 者		375	100	75	12	12	1
職 員		206	100	78	10	11	1
労 務 生		169	100	70	15	13	2
学 生		10	100	90	—	10	—
無 職、その他		377	100	83	7	9	1
不 明		10	100	100	—	—	—

住 宅 地 域						
総 数		絶対に いけない	別に かまわない	わ か ら な い	無 回 答	
実数	%					
1359	100	81%	10%	8%	1%	—
216	100	81	11	8	—	—
589	100	75	14	9	2	—
445	100	74	15	9	2	—
144	100	76	13	11	—	—
26	100	62	12	19	—	—
523	100	89	5	6	—	※
5	100	100	—	—	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

(4) 男女別、未既婚別

男女別		男					
未既婚別	回答	総数		絶対にいけない	別にかまわない	わからない	無回答
		実数	%				
総数	数	1,357	100	74%	14%	10%	2%
既婚	婚	1,129	100	75	15	8	2
未婚	婚	224	100	68	11	19	2
不明	明	4	100	75	25	—	—

女					
総数	実数	%	絶対にいけない	別にかまわない	わからない
1,363	100	86%	6%	8%	※%
1,172	100	88	6	6	※
185	100	73	9	17	1
6	100	100	—	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

(5) 男女別、男女交際が自由になった最近の傾向に対する態度別

男女別		男					
態度別	回答	総数		絶対にいけない	別にかまわない	わからない	無回答
		実数	%				
総数	数	1,357	100	74%	14%	10%	2%
好ましい	い	779	100	72	16	10	2
困ったものだ	だ	84	100	81	17	1	1
一概にいけない	ない	424	100	76	11	12	1
わからない	ない	68	100	82	9	7	2
不明	明	2	100	—	—	—	100

る態度別

女					
総数	実数	%	絶対にいけない	別にかまわない	わからない
1,363	100	86%	6%	8%	※%
695	100	85	6	8	1
80	100	88	5	6	1
445	100	86	6	8	※
139	100	82	8	9	1
4	100	100	—	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

夫の女性関係を別にかまわないと答えているものについて、その相手となる女性がいわゆる水商売の婦人ならかまわないと思うのか、あるいは素人の婦人でもかまわないと思つているのかをみたところ、「水商売の婦人でも素人の婦人でもかまわない」と考えているものが男女いずれも約6割（男57%、女56%）、「水商売の婦人ならかまわない」が男で約4割（37%）、女で約3割（31%）となっている。（第15表参照）

第15表 夫の女性関係の相手に対する態度

（夫の女性関係を別にかまわないといったものについて）

回答 男女別	総 数		水商売の人 でも素人の 婦人でもか まわない	いわゆる水 商売の人な らかまわな い	わからない	無回答
	実数	%				
総 数	279	100	56%	36%	7%	1%
男	193	100	57	37	44	2
女	84	100	56	31	13	—

ハ 妻の男性関係をどう思うか。

妻が夫以外の男性と関係をもつことについてどう思うかの質問に対して、男2割弱（8.6%）、女9割強（93%）が「絶対にいけない」と答えており、「別にかまわない」と答えているものは1割にみだない（男6%、女2%）。これらの考え方には地域差が殆んどみられない。なお、問題地域、住宅地域とも、妻の男性関係に対する批判は前編の夫の女性関係に対するそれよりさらにきびしい。（第16表(1)参照）

年齢別では、男女いずれも、概して年齢が高くなる程「絶対にいけない」と答えているものが多く、年齢が低くなる程「別にかまわない」と答えているものが多い。（第16表(2)参照）

第16表 妻の男性関係をどう思うか

(1) 男女別、地域別

男女別 地域別	回 答	総 数		絶対に いけない	別にか まわな い	わから ない	無 回 答
		実数	%				
男	総 数	1357	100	86%	6%	6%	2%
	問題地域	678	100	86	5	7	2
	住宅地域	679	100	87	6	6	1
女	総 数	1363	100	93	2	5	※
	問題地域	683	100	92	2	5	1
	住宅地域	680	100	95	1	4	—

注 ※印は1%未満をオス。

(2) 男女別、年齢別

男女別	年齢別 回 答	総 数		絶対 に い じ や ない	別 に か ま わ ない	わ か ら ない	無 回 答
		実 数	%				
男	総 数	1,357	100	86%	6%	6%	2%
	20才-24才	137	100	83	9	7	1
	25才-29才	163	100	82	3	12	3
	30才-39才	413	100	86	5	8	1
	40才-49才	345	100	87	7	4	2
	50才-59才	297	100	90	4	4	2
	不 明	2	100	100	—	—	—
女	総 数	1,363	100	93%	2%	5%	※%
	20才-24才	143	100	86	4	8	2
	25才-29才	184	100	91	3	6	—
	30才-39才	432	100	94	1	5	※
	40才-49才	377	100	96	1	3	※
	50才-59才	221	100	95	2	3	—
	不 明	6	100	83	—	17	—

注 ※印は1%未満を示す。

= 妻をもつことは今後少なくなると思うか。

「そうは思わない」と否定したものが53%、「少なくなる」と肯定したものが38%、「わからない」「無回答」をあわせて9%で、対象者の過半数が世の中の男性が妻をもつということは今後も

なび少なくならないだろうと判断している。(第17表参照)

これを地域別にみると、問題地域では「そうは思わない」57%、「少なくなる」34%、住宅地域では「そうは思わない」49%、「少なくなる」42%で、「そうは思わない」と否定するものは住宅地域より問題地域に多く、「少なくなる」と肯定しているものは問題地域より住宅地域に多い。(第17表参照)

第17表 妻をもつことは今後少なくなると思うか(地域別)

地域別 回 答	実 数		少 な く な る	そ う は 思 わ ない	わ か ら ない	無 回 答
	実 数	%				
総 数	2,720	100	38%	53%	3%	6%
問 題 地 域	1,361	100	34	57	4	5
住 宅 地 域	1,359	100	42	49	3	6

ホ 性教育はどこでしたら一番よいと思うか。

過半数(62%)が学校と答えており最も多い。ついで「家庭」(31%)、「社会」(9%)の順となっている。この回答には地域差が殆んどみられないが、しいていえば「家庭」と答えているものは問題地域より住宅地域に多く、「社会」と答えているものは住宅地域より問題地域に多くなっている。(第18表参照)

第18表 社会教育はどこでしたら一番よいと思うか (地域別)

地域別	回答	総 数		家 庭	学 校	社 会	わ か ら な い	無 回 答
		実 数	%					
総 数		2720	100	61%	62%	9%	8%	1%
問 題 地 域		1361	100	25	62	9	9	1
住 宅 地 域		1359	100	36	62	8	7	2

注 1人で2つ以上の回答をしたものは、それぞれ該当欄に算入した。したがって合計は100%をこえる。

⑤ 娯楽選択についての傾向

1 接客業に従事する女性は今後ふえると思うかへると思うか。

① 芸妓はどうか。

芸妓は今後「へる」と答えているものは3割前後(男38%、女27%)、「同じ位」2割強(男女ともに24%)、「ふえる」2割前後(男22%、女18%)で、他は「わからない」と答えているもの(男15%、女31%)である。(第19表(1)参照)

これを地域別を見ると、「へる」と答えているものは、問題地域(男33%、女27%)より住宅地域(男43%、女28%)に多く、「ふえる」と答えているものは住宅地域(男19%、女18%)より問題地域(男25%、女23%)に多くなっている。

(第19表(1)参照)

年齢別では、男女いずれも年齢の高い層に、「ふえる」と答えているものも「へる」と答えているものも多く、年齢が低くなる程「わからない」と答えているものが多い。これは若年層の芸妓

に対する関心度の低いことを示していると考えられる。なお、「同じ位」と答えているものは25才から29才の層に比較的多い。(第19表(2)参照)

職業別に見て特に目立つのは学生で、「わからない」と答えているものが他の職業よりはるかに多く、また、「ふえる」と答えているものは他の職業よりはるかに少ない。(第19表(3)参照)

第19表 芸妓は今後ふえると思うか

(1) 男女別、地域別

男女別	地域別	回答	総 数		ふえる	へる	同じ位	わ か ら な い	無 回 答
			実 数	%					
男	総 数		1357	100	22%	38%	24%	15%	1%
	問 題 地 域		678	100	25	33	25	16	※
	住 宅 地 域		679	100	19	43	24	14	※
女	総 数		1363	100	18	27	24	31	※
	問 題 地 域		685	100	23	27	24	26	※
	住 宅 地 域		680	100	13	28	27	35	※

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 男女別、

年齢別 回答	男女別		男				
	総数	数	ふえる	へる	同じ位	わからない	
	実数	%					
総数	1,357	100	2.2%	3.8%	2.4%	1.5%	
20才-24才	137	100	2.1	3.4	2.2	2.3	
25才-29才	163	100	1.8	3.6	2.8	1.7	
30才-39才	413	100	2.2	3.6	2.5	1.6	
40才-49才	345	100	2.3	4.1	2.5	1.1	
50才-59才	297	100	2.4	4.1	2.2	1.3	
不明	2	100	—	5.0	5.0	—	

注 ※印は1%未満を示す。

(8) 男女別、

職業別 回答	男女別		男				
	総数	数	ふえる	へる	同じ位	わからない	
	実数	%					
総数	1,357	100	2.2%	3.8%	2.5%	1.5%	
業主	524	100	2.4	3.9	2.4	1.2	
農林漁	22	100	2.7	3.2	1.8	2.3	
商工鉱	354	100	2.5	3.7	2.5	1.2	
その他	148	100	2.3	4.6	2.2	.9	
被傭者	722	100	2.0	3.9	2.6	1.5	
職員	503	100	1.9	4.4	2.6	1.1	
労務	219	100	2.4	2.6	2.6	2.4	
学生	25	100	.8	3.2	2.4	3.6	
無職、その他	79	100	2.7	3.0	1.9	2.4	
不明	7	100	4.3	1.4	2.9	1.4	

注 ※印は1%未満を示す。

年齢別

無回答	女		女				
	総数	数	ふえる	へる	同じ位	わからない	無回答
	実数	%					
※%	1,363	100	1.8%	2.7%	2.4%	3.1%	※%
—	143	100	1.3	2.3	2.3	4.1	—
1	184	100	1.3	2.6	2.6	3.5	—
1	432	100	1.9	2.5	2.4	3.2	※
—	377	100	1.9	3.1	2.4	2.6	—
—	221	100	2.2	2.9	2.3	2.6	※
—	6	100	1.7	1.7	1.7	4.9	—

職業別

無回答	女		女				
	総数	数	ふえる	へる	同じ位	わからない	無回答
	実数	%					
※%	1,363	100	1.8%	2.7%	2.4%	3.1%	※%
1	281	100	2.2	2.9	2.4	2.5	※
—	23	100	3.0	2.2	.9	3.9	—
1	196	100	2.1	3.1	2.3	2.6	※
—	62	100	1.9	2.6	3.4	2.1	—
※	242	100	1.3	3.3	2.5	2.9	※
※	148	100	1.4	3.1	2.8	2.6	1
※	94	100	1.1	3.6	1.9	3.4	—
—	11	100	—	3.6	.9	5.5	—
—	821	100	1.9	2.4	2.4	3.3	※
—	8	100	2.5	2.5	1.3	3.7	—

④ バー、キャバレー、カフェーの社交係(女給)はどうか。

男女いずれも過半数(男70%、女57%)が「ふえる」と答えており、他は、男では「同じ位」(14%)、「わからない」(11%)、「へる」(5%)、女では「わからない」(23%)、「同じ位」(17%)、「へる」(3%)となっている。(第20表(1)参照)

これらを地域別にみると、「ふえる」と答えているものは住宅地域(男69%、女52%)より問題地域(72%、女63%)に多く、「へる」と答えているものは問題地域(男4%、女3%)より住宅地域(男5%、女4%)にやや多くなっている。(第20表(1)参照)

年齢別では、「へる」「同じ位」と答えているものには大きな年齢差がみられないが、「ふえる」と答えているものは概して年齢が高くなる程多くなる傾向を示している。(第20表(2)参照)

職業別では、「ふえる」と答えているものは業主(男73%、女68%)、被服者(男68%、女54%)、学生(男64%、女46%)の順に高い。(第20表(3)参照)

第20表 バー、キャバレー、カフェーの社交係(女給)は
今後ふえると思うか

(1) 男女別、地域別

男女別	地域別	回答	総数		ふえる	へる	同じ位	わからない	無回答
			実数	%					
男	総数		1357	100	70	5	14	11	※
	問題地域		678	100	72	4	12	12	※
	住宅地域		679	100	69	5	15	11	※
女	総数		1363	100	57	3	17	23	※
	問題地域		683	100	63	3	16	18	※
	住宅地域		680	100	52	4	17	27	※

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 男女別、年齢別

年 令 別		男女別		男				
		回 答		ふ え る	へ る	同 じ 位	わ か ら な い	無 回 答
		実数	%					
総 数		1357	100	70%	5%	14%	11%	※%
20才-24才		137	100	65	7	13	15	—
25才-29才		163	100	60	7	17	15	1
30才-39才		413	100	70	4	16	10	※
40才-49才		345	100	72	4	13	11	—
50才-59才		297	100	77	5	9	9	—
不 明		2	100	50	—	50	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 男女別、職業別

職 業 別		男女別		男				
		回 答		ふ え る	へ る	同 じ 位	わ か ら な い	無 回 答
		実数	%					
総 数		1357	100	70%	5%	14%	11%	※%
業 主		524	100	73	4	12	11	※
農 林 漁		22	100	59	—	18	23	—
商 工 鉱		354	100	74	4	11	10	1
そ の 他		148	100	72	4	11	13	—
被 傭 者		722	100	68	6	16	10	—
職 員		503	100	69	6	19	6	—
勞 務		219	100	66	5	9	20	—
学 生		25	100	64	8	12	16	—
無職、その他		79	100	72	8	6	14	—
不 明		7	100	72	—	14	14	—

注 ※印は1%未満を示す。

		女					
総 数		ふ え る	へ る	同 じ 位	わ か ら な い	無 回 答	
実 数	%						
1363	100	57%	3%	17%	23%	※	
143	100	57	4	14	25	—	
184	100	49	3	18	30	—	
432	100	56	4	17	23	※	
377	100	61	4	17	18	—	
221	100	61	4	15	20	※	
6	100	33	—	33	34	—	

以上で芸能や女給など接客業に従事する女性は今後ふえるかへる
かについての一般の判断が明らかにされたが、これらの女性との遊
びといわゆる健全娯楽（家庭娯楽、スポーツ等）との関係について
どう考えているかをみると、芸能や女給との遊びを求める人は、家
庭娯楽やスポーツが盛んになれば「少なくなる」と答えているもの
が約半数（男45%、女54%）、「かわりない」と答えているもの
が約半（男41%、女35%）、「多くなる」が1割弱（男7%、
女3%）で、この傾向は年齢別にみても大差ない。（第21表参照）

第21表 芸能や女給との遊びを求める人は、家庭娯楽やスポーツ
が盛んになれば少なくなると思うか（男女別、年齢別）

男女別	年齢別	回答	総 数		少な くなる	変な りい	多な くなる	わな からい	無回 答
			実 数	%					
男	総 数		1357	100	45%	41%	7%	7%	※※
	20才-29才		300	100	45	39	6	10	※
	30才-39才		413	100	47	42	5	6	※
	40才-49才		345	100	46	42	6	6	※
	50才-59才		297	100	42	40	12	6	—
	不 明		2	100	100	—	—	—	—
女	総 数		1363	100	54	32	3	11	※
	20才-29才		327	100	56	30	1	13	—
	30才-39才		432	100	53	35	2	10	※
	40才-49才		377	100	54	34	3	9	—
	50才-59才		221	100	54	28	5	13	—
	不 明		6	100	50	33	—	17	—

注 ※印は1%未満を示す。

ロ 性問題を露骨に取扱った週刊誌や映画はどのような人に多くみられ
ていると思うか。

① 性問題を露骨に取扱った週刊誌や映画を買ったり見たりするも
のは若い人に多いと思うか年配者に多いと思うか。

「若い人に多い」と答えているものが男女いずれも4割近く（
男38%、女36%）で最も多く、なかでも「20代に多い」が
約3割をしめている。ついで多いのは「年配者に多い」（男27%、
女25%）、「どちらともいえない」（男25%、女24%）
で、それぞれ2.5割前後をしめており、他は「わからない」（男
10%、女15%）「無回答」である。

なお、「年配者に多い」と答えているものでは、その殆んど（
男では27%中22%、女では25%中20%）が、とくに「40
名に多い」と答えている。（第22表(1)参照）

この傾向は年齢別にみても大差なく、各年齢層とも「若い人、
とくに20才代に多い」と答えているものが最も多い。なお、こ
こで目につくのは20才代の対象者が他の年齢層と同様、「若い
人、とくに20才代に多い」と答えていることである。（第22
表(2)参照）

② 男の人、女の人という点からみるとどちらに多いと思うか。

「男の人に多い」と答えているものが男女いずれも過半数（男
66%、女57%）をしめ、「どちらともいえない」が2割強（
男22%、女27%）となつている。なお、「女の人に多い」と
答えているものは男女いずれも5%で1割にみえない。（第22
表(3)参照）

② 教育、教養のある人、ない人という点からみるとどちらに多いと思うか。

「どちらともいえない」と答えているものが約半数（男49%、女48%）で最も多い。ついで「教育、教養のない人に多い」（男28%、女29%）、「教育、教養のある人に多い」（男14%、女11%）の順となつてゐる。他は「わからない」「無回答」である。（第22表(8)参照）

これを学歴別にみると、男女いずれも「教育、教養のある人に多い」と答えているものは学歴の低いものほど多く、「教育、教養のない人に多い」では学歴が高くなるほど多くなつていて、お互いに自己の属さない他の階層に多いと答えている点が注目される。なお、「どちらともいえない」と答えているものでは学歴差は殆んどみられない。（第22表(4)参照）

第22表 性問題を露骨に取扱つた週刊誌や映画は主にどういふ人が買つたり見たりすると思うか

(1) 若い人、年配者ではどちらに多いと思うか（男女別）

年 令 別	回 答	総 数		若い人に多い			年配者に多い			ど い ち ら と も	わ か ら な い	無 回 答
		実数	%	計	20代	30代	計	40代	50代			
総 数		2720	100	37%	28%	9%	26%	21%	5%	25%	12%	※%
男		1357	100	38%	29%	9%	27%	22%	5%	25%	10%	※%
女		1363	100	36%	27%	9%	25%	20%	5%	24%	15%	※%

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 若い人、年配者ではどちらに多いと思うか（年齢別）

年 令 別	回 答	総 数		若い人に多い		年配者に多い		ど い ち ら と も	わ か ら な い	無 回 答
		実数	%	計	20代	30代	計	40代	50代	
総 数		2720	100	37%	28%	9%	26%	21%	5%	※%
20才-29才		627	100	37%	30%	7%	23%	19%	4%	1%
30才-39才		845	100	34%	23%	11%	28%	22%	6%	1%
40才-49才		722	100	39%	31%	8%	27%	22%	5%	※%
50才-59才		518	100	39%	30%	9%	22%	18%	4%	1%
不 明		8	100	26%	13%	13%	13%	—	13%	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 女の人、男の人ではどちらに多いと思うか（男女別）

男 女 別	回 答	総 数		女 の 人 に 多 い	男 の 人 に 多 い	ど い ち ら と も	わ か ら な い	無 回 答
		実数	%					
総 数		2720	100	5%	62%	24%	9%	※%
男		1357	100	5%	66%	22%	7%	※%
女		1363	100	5%	57%	27%	11%	※%

注 ※印は1%未満を示す。

(4) 教育、教養のある人、ない人ではどちらが多いと思うか

男女別	学歴別	回 答	総 数		ある人 に多い 教育教養 の	ない人 に多い	どちら ともい えない	わ か ら な い	無 回 答
			実 数	%					
男	総 数		1357	100	14%	28%	49%	8%	1%
	小、高小、新中		436	100	19	21	48	12	※
	旧中、新高		509	100	12	31	49	7	1
	旧高専、短大以上		396	100	11	30	51	7	1
	不 明		16	100	13	19	62	—	6
女	総 数		1363	100	11	29	48	12	※
	小、高小、新中		488	100	16	24	46	14	※
	旧中、新高		730	100	9	30	50	11	※
	旧高専、短大以上		131	100	7	40	46	8	—
	不 明		14	100	14	36	29	21	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 売春問題に対する態度

① 女子の売春行為について

イ どういう理由で売春をするようになったと思うか。

売春をするようになった主な理由をどのように考えているかをみると、第23表のとおり、「経済的理由」をあげているものが58%で、対象者の約6割のものが売春婦に転落する大きな原因を社会的なものと考えている。他にあげられた理由には「本人の性格」（32%）、「本人の欠陥」（9%）、「売春を強要する人がついている」（6%）などがあり、転落の主な理由を個人的なものと考えているものも5割近くいる。

これを地域別にみると、転落の主な理由を「経済的理由」と考えているものは問題地域より住宅地域に多く、「本人の性格」と考えているものは住宅地域より問題地域に多い。（第23表参照）

第23表 どういう理由で売春をするようになったと思うか（地域別）

地域別	回答	総数		本人の性格	本人の欠陥	経済的理由	売春を強要する人がついている	その他	わからない	無回答
		実数	%							
総数	数	2720	100	32%	9%	58%	6%	3%	12%	1%
問題地域		1361	100	36	9	54	6	3	11	1
住宅地域		1359	100	29	10	63	6	4	13	1

注 1人につき2つ以上の回答をしたものはそれぞれの該当欄に算入した、したがって合計は100%をこえる。

ロ 女の人が売春をすることをどう思うか。

女子が売春をするとは「絶対にいけない」と考えているものが男5.2%、女6.1%で、男女いずれも過半数が女の人々の売春を「絶対にいけない」と否定している。しかしなかには、「事情によつてはやむをえない」と考えているものも男3.9%、女3.0%あり、対象者の3分の1は売春を容認している。(第24表(1)参照)

この傾向について男女差をみると、男は女にくらべて容認度が高く、売春に対する否定度は低い。

また、地域差では、問題地域は住宅地域にくらべて容認度が高く、逆に否定度は低い。

さらに年齢による差をみると、若い年齢層は高年齢層にくらべて「事情によつてはやむをえない」とする容認度は低く、「絶対にいけない」とする否定度はやや高くなっている。(第24表(2)参照)

学歴別では男女いずれも学歴が高いものほど「事情によつてはやむをえない」と容認しているものは少なく、「絶対にいけない」と否定するものが多い。(第24表(3)参照)

また、男女交際が自由になった最近の傾向に対して肯定的な見方をしているものと否定的な見方をしているものについて考え方の差をみると、前者は後者より売春を容認する率は低く、否定する率が高い。(第24表(4)参照)

これらの考え方を、若年層ことに2.0才から2.4才の就業者と学生についてみると、第24表(5)のとおり、学生より就業者の方が売春を容認するものが多い。逆に否定するものは少ない。とくに女子学生の場合は100%が否定している。(第24表(5)参照)

第24表 女の人が売春をすることをどう思うか

(1) 男女別、地域別

男女別 地域別		男						女					
		総数		やむをえない 事情によつては	絶対にいけない	わからない	無回答	総数		やむをえない 事情によつては	絶対にいけない	わからない	無回答
		実数	%					実数	%				
総数		1,357	100	3.9%	5.2%	8%	1%	1,363	100	3.0%	6.1%	9%	※
問題地域		678	100	4.2	5.0	8	※	683	100	3.4	5.5	10	1
住宅地域		679	100	3.6	5.4	9	1	680	100	2.6	6.6	8	※

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 男女別、年齢別

男女別		男						女					
年 令 別	回 答	総 数		やむをえない 事情によつては	絶対にいけない	わからない	無 回 答	総 数		やむをえない 事情によつては	絶対にいけない	わからない	無 回 答
		実数	%					実数	%				
	総 数	1,357	100	3.9%	5.2%	8%	1%	1,363	100	3.0%	6.1%	9%	※
	2.0才-2.4才	137	100	3.0	5.5	15	—	143	100	2.1	6.2	17	—
	2.5才-2.9才	163	100	3.1	5.4	14	1	184	100	2.2	6.7	10	1
	3.0才-3.9才	413	100	3.9	5.2	8	1	432	100	3.2	5.9	8	1
	4.0才-4.9才	345	100	4.4	4.9	7	※	377	100	3.3	6.0	7	※
	5.0才-5.9才	297	100	4.1	5.3	5	1	221	100	3.4	5.8	8	※
	不 明	2	100	—	100	—	—	6	100	—	50	50	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 男女別、学歴別

学歴別	回答	男女別		男			
		総数		やむをえない事情によつては	絶対にいけない	わからない	無回答
		実数	%				
総数		1357	100	39%	52%	8%	1%
小、高小、新中		436	100	46	45	9	—
旧中、新高		509	100	45	56	8	1
旧高専、短大以上		396	100	36	54	8	2
不明		16	100	56	44	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

(4) 男女別、男女交際が自由になつた最近の傾向に

態度別	回答	男女別		男			
		総数		やむをえない事情によつては	絶対にいけない	わからない	無回答
		実数	%				
総数		1357	100	39%	52%	8%	1%
好ましい		779	100	39	53	7	1
困つたものだ		84	100	45	49	6	—
一概にいえない		424	100	38	53	8	1
わからない		68	100	41	35	24	—
不明		2	100	50	—	—	50

注 ※印は1%未満を示す。

		女			
総数	実数	%	やむをえない事情によつては	絶対にいけない	わからない
総数	1363	100	30%	61%	9%
	488	100	38	51	11
	730	100	26	66	8
	131	100	23	72	5
	14	100	36	57	7

対する態度別

		女			
総数	実数	%	やむをえない事情によつては	絶対にいけない	わからない
総数	1363	100	30%	61%	9%
	695	100	26	66	8
	80	100	46	50	4
	445	100	32	60	8
	139	100	31	46	21
	4	100	25	25	—

(5) 男女別、職業別（20才～24才までのものについて）

職業別	回答	男				女			
		総数		やむをえない事情によつては	絶対にいけない	わからない	総数		やむをえない事情によつては
		実数	%				実数	%	
総数		137	100	30%	55%	15%	143	100	21%
就業者		107	100	31	53	16	84	100	19
学生		23	100	22	61	17	10	100	—
無職その他		7	100	43	57	—	49	100	29

ハ 子供の養育のため売春することをどう思うか。

子供を育てるために売春することは「わるい」と答えているものが過半数（男62%、女67%）で、「仕方がない」と答えているものが3割弱（29%、女23%）、「わからない」「無回答」など無関心な態度をとっているものが約1割である。（第25表参照）

この傾向について男女差をみると、問題地域、住宅地域いずれも男の方が女より「仕方がない」と容認しているものが多く、「わるい」と否定しているものは少ない。

さらに地域差をみると、男女いずれも問題地域の方が住宅地域より「仕方がない」と容認しているものが多く、「わるい」と否定しているものは少ない。（第25表参照）

第25表 子供を育てるために売春することとはどう思うか

(男女別、地域別)

男女別	地域別	回答	総数		仕方がない	わるい	わからない	無回答
			実数	%				
男	総数		1357	100	29%	62%	8%	1%
	問題地域		678	100	34	58	7	1
	住宅地域		679	100	25	66	8	1
女	総数		1363	100	23	67	10	※%
	問題地域		683	100	26	63	11	※
	住宅地域		680	100	20	71	9	※

注：※印は1%未満を示す。

ニ 病気や失業した夫・親を養うために売春することとはどう思うか。

病気や失業した夫や親を養うために売春することは「わるい」と否定しているものが約半数（男55%、女58%）、「仕方がない」と容認しているものが約3割（男33%、女27%）、「わからない」「無回答」が1割強（男12%、女15%）である。これは前掲の子供を育てるための売春に対する考え方に比べると容認度はやや高く、否定度は低くなっている。（第26表参照）

さらに、地域別、男女別に考え方の差をみると、「わるい」と否定しているものは、住宅地域の男女（各々61%）が最も多く、問題地域の男（49%）が最も少ない。また、「仕方がない」と容認しているものは、問題地域の男（40%）が最も多く、住宅地域の女（24%）が最も少ない。（第26表参照）

第26表 病気や失業した夫、親を養うために売春をすることは
 どうか (男女別、地域別)

男女別	地域別	回 答		仕 方 が ない	わ る い	わ か ら ない	無 回 答
		実 数	%				
男	総 数	1,357	100	33%	55%	11%	1%
	問題地域	678	100	40	49	11	※
	住宅地域	679	100	27	61	11	1
女	総 数	1,383	100	27	58	15	※
	問題地域	683	100	31	55	14	※
	住宅地域	680	100	24	61	15	※

注 ※印は1%未満を示す。

なお、女子が生活に困った場合の生き方としてどういう方法がよ
 いと思うかを重ねて質問したところ、「生活保護などをうける」と
 答えたものが6割近く(男女とも58%)で最も多いが、なかには
 「売春をしても人の世話にならない」と答えているものが1割近く
 (男7%、女5%)あった。(第27表参照)

第27表 女の人が生活に困った場合の生き方としてどれがよい
 と思うか (男女別、地域別)

男女別	地域別	回 答		も と に 人 の 世 話 を し て 話 す	親 類 な ど の 世 話 に な る	生 活 保 護 な ど を う け る	そ の 他	無 回 答
		実 数	%					
男	総 数	1,357	100	7%	9%	58%	24%	2%
	問題地域	678	100	9	10	55	25	1
	住宅地域	679	100	5	9	61	22	3
女	総 数	1,383	100	5	9	58	26	2
	問題地域	683	100	7	10	55	26	2
	住宅地域	680	100	2	8	61	27	2

ホ 売春婦を更生させることは困難なことだと思うか。

売春婦を更生させることの困難性を認めているものが大多数であ
 るが、しかしそのなかには、困難性は認めていても「やりようによ
 ればなんとか更生させることができるだろう」と答えているものが
 約6割(男55%、女63%)もあり、「困難だとは思わない」と
 答えているものの約1割(男10%、女7%)を加えると、7割前
 後のものが更生に対して明るい見方をしている。なお、「非常に困
 難なことだ」と答えているものは3割近く(男30%、女23%)
 ある。(第28表参照)

地域別、男女別に考え方の差をみると、「困難だがやりようによ
 ればできるだろう」、「困難だとは思わない」と売春婦の更生に対
 して明るい見方をしているものは問題地域(男60%、女66%)

より住宅地域（男7.1%、女7.5%）に、男より女に多い。また、「非常に困難なことだ」と答えているものは住宅地域（男2.4%、女1.8%）より問題地域（男3.6%、女2.7%）に、女より男に多い。（第28表参照）

第28表 売春婦を更生させることは困難なことだと思うか（男女別・地域別）

男女別	地域別	回答	総 数		非常に困難	困難だがやむを得ない	思わない	わからない	無回答
			実数	%					
男	総 数		1,357	100	30%	55%	10%	5%	※%
	問題地域		678	100	36	50	10	4	※
	住宅地域		679	100	24	61	10	5	—
女	総 数		1,363	100	23	63	7	7	※
	問題地域		683	100	27	60	6	7	※
	住宅地域		680	100	18	67	8	7	※

注 ※印は1%未満を示す。

更生させることは困難だと答えたものについてその困難な理由をみると、「本人がだらしのない生活になれているから」が最も多く（男4.0%、女4.1%）あげられており、他は、「世間がうけ入れられない」（男2.4%、女2.3%）、「家族やひもがついている」（男2.2%、女1.9%）、「就職先がない」（男2.3%、女1.7%）などがあげられている。（第29表参照）

第29表 売春婦を更生させることの困難な理由（男女別）
（売春婦を更生させることは困難といったものについて）

回答 男女別	総 数		本人がだらしのない生活になれている	家族やひもがついている	世間がうけ入れられない	就職先がない	その他	わからない	無回答
	実数	%							
総 数	2,332	100	40%	20%	24%	20%	7%	4%	2%
男	1,157	100	40	22	24	23	8	3	2
女	1,175	100	41	19	23	17	6	5	1

注 1人につき2つ以上の回答をしたものは、それぞれの該当欄に算入した。したがって合計は100%をとる。

② 男子の女遊びについて

1 男の人が売春婦と遊ぶことをどう思うか。

男子が売春婦と遊ぶことは「わるいことだ」と答えているものが約7割（男6.3%、女6.8%）、「場合による」と答えているものが約2割（男2.3%、女2.0%）、「別に悪いことではない」とはつきり容認しているものが1割弱（男7%、女3%）で、大多数のものは男の女遊びを悪いことだと考えている。（第30表(1)参照）

これについて地域差をみると、「別に悪いことではない」と容認しているものは殆んど地域差がみられないが、「わるいことだ」と答えているものには若干の地域差がみられ、住宅地域（男6.8%、女7.7%）は問題地域（男6.3%、女6.6%）にくらべ多くなっている。なお男女差では、男より女の方が「別に悪いことではない」

と容認するものは少なく、逆に「わるいことだ」と答えているものが多い。(第30表(1)参照)

年齢別では第30表(2)のとおり、男では殆んど年齢層による差はみられないが、女ではどちらかというと若年層より高年層に「別に悪いことではない」とか「場合による」などと容認するものが多く、「悪いことだ」と否定するものは少ない。

学歴別では男女いずれも学歴の高いもの程「悪いことだ」と答えているものが多く、「別に悪いことではない」、「場合による」と答えているものが少ない。(第30表(3)参照)

男女交際が自由になった最近の傾向に対する態度別にみると、男女いずれもこの傾向を肯定的な目でみているものは否定的な見方をしているものより「悪いことだ」と答えているものが多く、「別に悪いことではない」「場合による」と答えているものが少ない。なお、「一概にいけない」と考えているものは、肯定的な見方をしているものに近い傾向を示している。(第30表(4)参照)

夫の女性関係に対する態度別にみると、夫の女性関係に対して否定的な見方をしているものは、肯定的な見方をしているものより「絶対にいけない」と答えているものがはるかに多い(る、5割前後)しかし、夫の女性関係を否定しているもののなかにも、男の女遊びを「場合による」「別に悪いことではない」と容認するものが約2割あつた。(第30表(5)参照)

20才から24才までの若い層について就業者と学生の差をみると、その差は男女で異なっており、男では就業者の方が学生より男の女遊びを「悪いことだ」と考えているものが多く、「別に悪いこ

とではない」「場合による」と容認するものは少ない。女では学生の方が就業者より男の女遊びを「悪いことだ」と考えているものが多い。なお、女子学生には男の女遊びを容認する態度は全くみられなかった。(第30表(6)参照)

第30表 男の人が売春婦と遊ぶことをどう思うか

(1) 男女別、地域別

男女別	地域別	回答	総数		とではない 別に悪いこ	場合による	悪いことだ	わからない	無回答
			実数	%					
男	総数		1,357	100	7%	23%	66%	4%	※
	問題地域		678	100	6	25	63	5	1
	住宅地域		679	100	8	20	68	4	※
女	総数		1,363	100	3	20	72	5	※
	問題地域		683	100	4	24	66	6	※
	住宅地域		680	100	3	16	77	4	※

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 男女別、年齢別

男女別 年齢別	男						
	総 数		別とでは ない 悪いこと	場合による	悪いことだ	わからない	無回答
	実数	%					
総 数	1357	100	7%	23%	66%	4%	※%
20才-24才	137	100	8	20	60	12	※
25才-29才	163	100	6	21	66	6	1
30才-39才	413	100	8	20	69	3	※
40才-49才	345	100	6	28	61	4	1
50才-59才	297	100	6	21	69	4	—
不 明	2	100	—	—	100	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 男女別 学歴別

男女別 学歴別	男						
	総 数		別とでは ない 悪いこと	場合による	悪いことだ	わからない	無回答
	実数	%					
総 数	1357	100	7%	23%	66%	4%	※%
小、高小、新中	436	100	6	27	61	5	1
旧中、新高	509	100	6	22	67	5	※
旧高専短大以上	396	100	8	18	70	4	※
不 明	16	100	12	44	44	—	—

注 ※印は1%未満を示す。

女						
総 数		別とでは ない 悪いこと	場合による	悪いことだ	わからない	無回答
実数	%					
1363	100	3%	20%	72%	5%	※%
143	100	4	9	78	8	1
184	100	3	11	80	6	—
432	100	2	27	66	5	※
377	100	4	21	72	3	—
221	100	4	19	71	6	—
6	100	33	—	67	—	—

女						
総 数		別とでは ない 悪いこと	場合による	悪いことだ	わからない	無回答
実数	%					
1363	100	3%	20%	72%	5%	※%
488	100	5	22	67	6	—
730	100	2	19	74	4	1
131	100	2	15	78	5	—
14	100	7	14	72	7	—

(4) 男女別、男女交際が自由にな

態度別 回答	男女別		男				
	総数		別と では ない	場 合に よる	悪 いこ とだ	わ か ら な い	無 回 答
	実数	%					
総数	1357	100	7%	23%	66%	4%	
好ましい	774	100	7	21	68	4	
困ったものだ	84	100	13	25	60	2	
一概にいけない	424	100	5	26	64	4	
わからない	68	100	6	21	60	13	
無回答	2	100	—	—	50	—	

注 ※印は1%未満を示す。

(5) 男女別、夫の女性関係に対す

態度別 回答	男女別		男				
	総数		別と では ない	場 合に よる	悪 いこ とだ	わ か ら な い	無 回 答
	実数	%					
総数	1357	100	7%	23%	66%	4%	
絶対にいけない	1006	100	5	17	73	4	
別にかまわない	195	100	15	46	36	3	
わからない	132	100	5	29	51	15	
無回答	24	100	4	17	67	—	

注 ※印は1%未満を示す。

つた最近の傾向に対する態度別

無回答	女		女				
	総数		別と では ない	場 合に よる	悪 いこ とだ	わ か ら な い	無 回 答
	実数	%					
※%	1363	100	3%	20%	72%	5%	※%
※	695	100	2	21	72	5	※
—	80	100	10	20	70	—	—
1	445	100	4	18	73	5	※
—	139	100	3	17	68	12	—
50	4	100	—	25	75	—	—

る態度別

無回答	女		女				
	総数		別と では ない	場 合に よる	悪 いこ とだ	わ か ら な い	無 回 答
	実数	%					
※%	1363	100	3%	20%	72%	5%	※%
1	1166	100	2	18	76	4	※
—	84	100	13	37	43	7	—
—	106	100	8	24	55	13	—
12	7	100	—	29	43	—	28

(3) 男女別、職業別（20～24才までのものについて）

男女別	職業別	回答		別とでは 悪いこと	場合による	悪いことだ	わからない	無回答
		実数	%					
男	総数	157	100	8%	20%	60%	12%	※%
	就業者	107	100	7	18	62	13	—
	学生	23	100	18	26	52	4	—
	無職・その他	7	100	—	29	57	—	14
女	総数	143	100	4	9	78	8	1
	就業者	84	100	6	7	76	8	3
	学生	10	100	—	—	80	20	—
	無職・その他	19	100	2	12	82	4	—

注 ※印は1%未満を示す。

ロ 売春婦と遊ぶ男子はどういう人に多いと思うか。

独身者と養育者とどちらが多いと思うかの質問について結婚状態別にその回答をみると、既婚者では「独身者に多い」と答えているものが3.5割（男40%、女29%）で最も多く、「養育者に多い」が2割強（男21%、女25%）でこれにつぎ、他は「同じ位」（男21%、女17%）、「わからない」（男16%、女27%）である。未婚者では、「養育者に多い」と答えているものが3割前後（男31%、女26%）で最も多く、「独身者に多い」と答えているものは2割前後（男22%、女17%）である。なお、「同じ位」（男17%、女14%）「わからない」（男29%、女43%）が5割前後をしめている。

既婚者について有配偶者、別居別者別に考え方の差をみると、前者より後者の方が「独身者に多い」と答えているものが多い。

（第31表(1)参照）

若い人と年配者とどちらに多いと思うかについて年齢別にその回答をみると、男では各年齢層とも「若い人に多い」が最も多く（35%～38%）、女では各年齢層とも「年配者に多い」が最も多い（26%～36%）という男女差がみられるが、年齢差は殆んどみられない。（第31表(2)参照）

精神労働者と肉体労働者とどちらに多いと思うかについて職業別にその回答をみると、業主では「精神労働者に多い」と答えているものが最も多く、被傭者、学生では「肉体労働者に多い」が最も多い。被傭者を職員と労務者別にみると、男では「肉体労働者に多い」と答えているものは職員に多く、「精神労働者に多い」と答えているものは労務者に多い。また、女では「肉体労働者に多い」と答えているものはむしろ職員より労務者に多くなっている。業主については農林漁業、商工鉱業従事者との差は余りみられないが、どちらかといえば前者は後者より「精神労働者に多い」と答えているものが多く、「肉体労働者に多い」と答えているものは少ない。（第31表(3)参照）

ハ 男の人の女遊びの動機はなにか。

男の女遊び（買春）の動機を、自ら求めることが多いか、誘惑されることが多いかの質問についての回答をみると、「自ら求めることが多い」（3割強）と答えているものの方が「誘惑される」（2割強）と答えているものより多い。

しかし、どちらかというと女は男より「自ら求めることが多い」と考えているものが少なく、むしろ「誘惑されることが多い」と回答しているものが多くなっている。(第31表(4)参照)

第31表 売春婦と遊ぶ男の入はどう入に多いと思うか

(1) 独身者に多いと思うか、妻帯者に多いと思うか
(男女別、結婚状態別)

男女別	結婚状態別	回答	総数		独身者に多い	妻帯者に多い	同じ位	わからない	無回答
			実数	%					
男	総数		1,357	100	38%	23%	21%	18%	※
	有配偶者		1,111	100	41	22	21	16	※
	死離別者		18	100	50	11	22	11	6
	未婚者		224	100	22	31	17	29	1
	不明		4	100	75	—	25	—	—
女	総数		1,363	100	27	26	17	30	※
	有配偶者		1,038	100	29	25	18	27	1
	死離別者		134	100	30	28	12	30	—
	未婚者		185	100	17	26	14	43	—
	不明		6	100	17	33	—	50	—

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 若い人にも多いと思うか、年配者にも多いと思うか

(男女別、年齢別)

男女別	年齢別	回答	総数		若い人にも多い	年配者にも多い	同じ位	わからない	無回答
			実数	%					
男	総数		1,357	100	37%	26%	20%	16%	1%
	20才-29才		300	100	35	22	16	25	2
	30才-39才		413	100	36	27	18	18	1
	40才-49才		345	100	38	24	27	11	※
	50才-59才		297	100	38	33	18	11	※
	不明		2	100	—	50	—	50	—
女	総数		1,363	100	21	32	17	29	1
	20才-29才		327	100	17	36	12	35	※
	30才-39才		432	100	20	35	13	31	1
	40才-49才		377	100	24	26	25	24	1
	50才-59才		221	100	21	34	18	27	—
	不明		6	100	33	17	—	50	—

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 精神労働者に多いと思うか、肉体労働者に多いと思うか

(男女別、職業別)

男女別	職業別	回答	総数		精神労働者に多い	肉体労働者に多い	同じ位	わからない	無回答
			実数	%					
男	総数		1,357	100	24%	32%	23%	21%	※%
	業主		524	100	31	25	27	16	1
	農林漁		22	100	32	23	18	27	—
	商工		354	100	31	24	28	17	※
	その他		148	100	33	28	27	12	—
	被雇用者		722	100	18	36	22	23	—
	職員		503	100	16	40	22	22	※
	労働者		219	100	25	27	22	25	1
	学生		25	100	8	52	—	40	—
	その他		43	100	33	26	14	25	2
女	総数		1,363	100	26	28	15	31	※
	業主		281	100	31	27	14	27	1
	農林漁		23	100	35	22	4	39	—
	商工		196	100	33	26	13	28	※
	その他		62	100	26	34	18	22	—
	被雇用者		242	100	23	28	16	32	1
	職員		148	100	22	26	17	35	—
	労働者		94	100	25	30	15	28	2
	学生		11	100	—	—	27	73	—
	その他		774	100	25	28	14	33	※
	不明		47	100	15	34	21	30	—
	不明		8	100	38	38	—	24	—

注 ※印は1%未満を示す。

(4) 自ら求めることが多いと思うか、誘惑されることが多いと思うか (男女別)

男女別	回答	総数		自ら求めることが多い	誘惑されることが多い	同じ位	わからない	無回答
		実数	%					
総数		2,720	100	34%	25%	19%	21%	1%
男		1,357	100	40	23	21	15	1
女		1,363	100	29	26	17	27	1

(4) 売春防止法に対する関心

① 売春防止法に対する知識

売春防止法のあることについては、殆んどのもの(男98%、女93%)が知っていると答えているが(第32表参照)、処罰規定については不確実な知識のものが相当多い。法を知っていると答えているものの中で、売春婦や業者は処罰されることを知っているものは殆んど全員であるが(第33表(1)(2)参照)、売春の相手方は処罰されないことを知っているものは男で約半数(49%)、女では約4割(37%)である。(第33表(3)参照)

第32表 売春防止法を知っているか（男女別、地域別）

地域別 回答		男女別		男			女				
		総数		知っている	知らない	無回答	総数		知っている	知らない	無回答
		実数	%				実数	%			
総数		1357	100	98%	2%	※%	1363	100	95%	7%	※%
問題地域		678	100	98	2	※	683	100	93	7	※
住宅地域		679	100	98	2	—	680	100	93	7	※

注 ※印は1%未満を示す。

第33表 売春防止法はなにを処罰することになっているか
（売春防止法を知っているものについて）

(1) 売春婦は処罰されるか

男女別	地域別	回答	総数		処罰される	処罰されない	わからない	無回答
			実数	%				
男	総数		1,331	100	87%	6%	6%	1%
	問題地域		665	100	87	7	6	※
	住宅地域		666	100	88	5	6	1
女	総数		1,261	100	76	6	17	1
	問題地域		632	100	74	8	15	3
	住宅地域		629	100	77	5	18	※

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 売春させる人は処罰されるか

男女別	地域別	回答	総数		処罰される	処罰されない	わからない	無回答
			実数	%				
男	総数		1,331	100	95%	2%	3%	※
	問題地域		665	100	94	2	3	1
	住宅地域		666	100	95	2	3	※
女	総数		1,261	100	88	2	9	1
	問題地域		632	100	85	2	11	2
	住宅地域		629	100	91	2	7	※

注 ※印は1%未満を示す。

(3) 売春の相手となるお客は処罰されるか

男女別	地域別	回答	総数		処罰される	処罰されない	わからない	無回答
			実数	%				
男	総数		1,331	100	34%	49%	16%	1%
	問題地域		665	100	32	51	16	1
	住宅地域		666	100	37	47	16	※
女	総数		1,261	100	31	37	31	1
	問題地域		632	100	31	35	31	3
	住宅地域		629	100	31	38	31	※

注 ※印は1%未満を示す。

② 処罰規定に対する態度

イ 売春婦の処罰規定についてどう考えているか。

対象者の過半数（男57%、女69%）が「人の目にふれないように売春するものもすべて処罰するよう改めた方がよい」と答えており、「現行規定のままでよい」と答えているものは男で3割強（27%）、女で1割強（13%）である。（第34表参照）

これを地域別にみると、「現行のままでよい」と答えているものでは地域差が殆んどみられないが、「売春をするものすべて処罰するよう改めた方がよい」では問題地域より住宅地域に多い。

（第34表参照）

第34表 売春婦の処罰規定についてどう考えているか
（男女別、地域別）

男女別	地域別	回答	総 数		現行規定のい	売春するものすべてを処罰するよう改めた方がよい	わからない	無回答
			実数	%				
男	総数	数	1,357	100	27%	57%	15%	1%
	問題地域		678	100	29	53	17	1
	住宅地域		679	100	25	60	14	1
女	総数	数	1,363	100	13	69	17	1
	問題地域		683	100	13	65	21	1
	住宅地域		680	100	13	72	15	※

注 ※印は1%未満を示す。

ロ 売春の相手となる男性の処罰についてどう考えているか。

対象者の大半（男64%、女82%）が「男性も処罰するよう改めた方がよい」と答えており、「現行規定のままでよい」と答えているものは男で2割強（24%）、女では1割に満たない（6%）。（第35表参照）

第35表 売春の相手となるお客の処罰について
どう考えているか （男女別、地域別）

男女別	地域別	回答	総 数		現行規定のい	男性も処罰するよう改めた方がよい	わからない	無回答
			実数	%				
男	総数	数	1,357	100	24%	64%	11%	1%
	問題地域		678	100	32	55	12	1
	住宅地域		679	100	16	73	10	1
女	総数	数	1,363	100	6	82	12	※
	問題地域		683	100	8	79	13	※
	住宅地域		680	100	4	86	10	※

注 ※印は1%未満を示す。

地域差についてみると、現行法の改正を望むものは問題地域より住宅地域に多く、現行法維持を主張するものは住宅地域より問題地域に多い。（第34表参照）

なお、「売春の相手となつた男性を処罰せよ」というものは「売春をするものすべてを処罰せよ」というものより多い。

③ 法の施行効果についての判断

イ 赤線地帯のなくなった今の形と、赤線地帯のあつたもとの形ではどちらがよいか。

この質問に対しては「どちらもよくない」と答えているものが4割近く(男34%、女39%)をしめ、はつきりと「もとの形がよい」と答えているものは男4割(42%)、女3割(33%)で半数にみえない。また、はつきり「今の形がよい」と答えているものは1割(男12%、女10%)である。

これらの考え方を地域別にみると、「どちらもよくない」と答えているものは住宅地域に最も多く(男40%、女48%)、最も少ないのは問題地域のなかでも温泉観光地(男22%、女17%)である。また、「もとの形がよい」と答えているものは住宅地域(男38%、女25%)より問題地域(男45%、女41%)の方が多し。(第36表(1)参照)

年齢別では、若年令層には、「どちらもよくない」と答えているものが高年令層より多く、「もとの形がよい」「今の形がよい」と答えているものは少ない。(第36表(2)参照)

第36表 赤線地帯のなくなった今の形と赤線地帯のあつたもとの形ではどちらがよいと思うか

(1) 男女別、地域別

男女別	地域別	回答	総 数		今の形がよい	もとの形がよい	同じ位	どちらもよくない	わからない	無回答
			実数	%						
男	総 数		1,357	100	12%	42%	3%	34%	9%	※
	問題地域		678	100	13	45	3	29	9	1
	温泉観光地		214	100	15	47	5	22	11	※
	駐留軍基地		82	100	16	46	3	28	7	—
	歓楽街		382	100	12	44	3	32	8	1
	住宅地域		679	100	10	38	3	40	9	—
女	総 数		1,363	100	10	33	5	39	15	※
	問題地域		683	100	10	41	5	30	14	※
	温泉観光地		217	100	11	39	5	28	17	—
	駐留軍基地		83	100	8	25	5	32	23	—
	歓楽街		383	100	10	45	4	29	12	※
	住宅地域		680	100	9	25	2	48	16	※

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 男女別、年齢別

男女別	年齢別	回答	総 数		今の形がよい	もとの形がよい	同じ位	どちらでもない	わからない	無回答
			実数	%						
男	総 数		1357	100	12%	42%	3%	34%	9%	※%
	20才-29才		300	100	9	34	3	40	14	※
	30才-39才		413	100	12	40	4	35	9	※
	40才-49才		345	100	11	50	2	30	7	※
	50才-59才		297	100	16	44	3	31	6	—
	不 明		2	100	—	—	—	50	50	—
女	総 数		1363	100	10	33	3	39	15	※
	20才-29才		327	100	7	20	3	52	18	—
	30才-39才		432	100	10	32	4	37	17	※
	40才-49才		377	100	11	39	3	37	10	—
	50才-59才		221	100	10	43	3	28	15	↑
	不 明		6	100	17	—	17	50	16	—

注 ※印は1%未満を示す。

ロ 今の形になつて性病がふえたと思うか。

売春防止法施行後の問題として性病の増減が云々されているが、一般はこれについてどのように判断しているかをみると、第37表のとおり過半数(54%)が「わからない」と答えており、この問題に対してはなんとも判断しかねているものが多い。しかし、他の回答者のなかには、はっきりと「ふえた」と答えているものが3割

(30%)、「へつた」と答えているものが1割(10%)、「同じ位」と答えているものが1割弱(6%)みられた。(第37表参照)

第37表 今の形になつて性病がふえたと思うか (地域別)

地域別	回答	総 数		ふえた	へつた	同じ位	わからない	無回答
		実数	%					
総 数		2720	100	30	10	6	54	※
問題地域		1361	100	33	9	7	50	1
住宅地域		1359	100	26	11	5	58	※

注 ※印は1%未満を示す。

ハ 今の形になつて性犯罪がふえたと思うか。

対象者の過半数(61%)が法施行後は性犯罪が「ふえた」と答えており、「へつた」と答えているものはわずか2%にすぎない。他は「同じ位」12%、「わからない」24%である。(第38表参照)

第38表 今の形になつて性犯罪がふえたと思うか (地域別)

地域別	回答	総 数		ふえた	へつた	同じ位	わからない	無回答
		実数	%					
総 数		2720	100	61	2	12	24	1
問題地域		1361	100	59	4	12	24	1
住宅地域		1359	100	62	3	12	23	※

注 ※印は1%未満を示す。

ニ 今の形になつて風紀が悪くなつたと思うか。

対象者の半数近く（46％）が「悪くなつた」と答えている。ついで「同じ位」（24％）、「わからない」（20％）の順で、「よくなつた」と答えているものは1割（10％）にすぎない。（第39表参照）

第39表 今の形になつて一般に風紀が悪くなつたと思うか
（地域別）

地域別	回 答	総 数		悪くなつた	よくなつた	同じ位	わからない	無回答
		実数	％					
総 数		2,720	100	46 [％]	10 [％]	24 [％]	20 [％]	※
問題地域		1,361	100	49	10	23	17	1
住宅地域		1,359	100	42	9	25	23	1

注 ※印は1％未満を示す。

ホ 地域の売春状況についてどのように判断しているか。

全般的にみると、自分の住んでいる地域では、いかがわしい女性をみかけることや、そのような女性の出入りする家や旅館は「ない」と答えているものが半数以上（57％）で、「ある」と答えているものは半数以下（41％）である。しかし地域別では回答差がはなはだしく、問題地域では「ある」と答えているものが7割から8割近く（但し温泉観光地は58％）で圧倒的に多く、住宅地域では「ない」と答えているものが9割近く（85％）で圧倒的に多い。（第40表参照）

第40表 この辺では、いかがわしい女の人をみかけたり、
このような女の人が出入りする家や旅館があるか
（地域別）

地域別	回 答	総 数		あ る	な い	無 回 答
		実数	％			
総 数		2,720	100	41 [％]	57 [％]	2 [％]
問題地域		1,361	100	69	29	2
温泉観光地		431	100	58	41	1
駐留軍基地		165	100	79	21	—
娯楽街		765	100	74	24	5
住宅地域		1,359	100	14	85	1

なお、「ある」と答えているものについて、どういふ状態は仕方ないと思うかと重ねて質問したところ、問題地域、住宅地域いずれも大半のもの（6割前後—8割前後）が「なんとかしてなくしたい」と答えており、「仕方ない」と答えているものは2割前後から3割前後である。（第41表参照）

第41表 いかがわしい女の人を見かけたり、そういう人が出入りする家や旅館のあることは仕方ないと思うか
(男女別、地域別)

(いかがわしい女の人をみかけたり、そういう人が出入りする旅館があるといったものについて)

男女別	地域別	回答	総 数		仕方ない	なくしたい なんとかして	わかない 別にないと思	わからない	無回答
			実数	%					
男	総 数		588	100	31	61	5	2	※
	問題地域		482	100	32	60	6	2	※
	温泉観光地		124	100	43	44	11	2	—
	駐留軍基地		68	100	26	71	3	—	—
	歓楽街		290	100	29	64	4	3	※
	住宅地域		106	100	25	68	5	1	1
女	総 数		533	100	20	74	2	3	1
	問題地域		455	100	21	74	2	3	※
	温泉観光地		124	100	31	60	5	4	—
	駐留軍基地		63	100	22	78	—	—	—
	歓楽街		269	100	16	79	1	3	1
	住宅地域		78	100	16	73	5	1	5

注 ※印は1%未満を示す。

(5) 売春問題の将来に対する判断

① 売春行為は今後少なくなると思うか。

売春をしたりその相手方になる行為は今後少なくなると思うかの旨

間に対してその回答をみると、4割前後(男41%、女37%)が「かわりない」という答えで最も多い。「少なくなる」と答えているものは2割強(男25%、女23%)でこれについでいるが、逆に「ふえる」と答えているものも2割前後(男23%、女16%)あり、少なくなると判断しているものをやや下廻る程度である。なお、わずか1%ではあるが「なくなる」と答えているものもみられた。(第42表(1)参照)

地域差はあまりみられないが、しいていえば、男女いずれも問題地域より住宅地域に「少なくなる」と答えているものが多く、「ふえる」と答えているものは少ない。なお、「かわりない」と答えているものでは女に地域差がみられ、問題地域は住宅地域にくらべてその比率は高くなっている。(第42表(1)参照)

年齢別にみると、第42表(2)のとおりで、「少なくなる」と答えているものには殆んど年齢差はみられないが、「ふえる」と答えているものでは年齢が高くなる程この率は高くなっている。また、「かわりない」と答えているものでは年齢が低くなる程この率は高くなっている。この傾向は男女とも同じである。(第42表(2)参照)

第42表 売春をしたり、その相手方になる行為は今後なくな
と思うか。

(1) 男女別、地域別

性別	地域別	回 答		な く な る	少 な く な る	ふ え る	か わ り な い	わ か ら な い	無 回 答
		実数	数 %						
男	総 数	1357	100	1	25	23	41	10	※
	問 題 地 域	678	100	1	22	25	41	11	※
	住 宅 地 域	679	100	1	28	21	41	9	※
女	総 数	1363	100	1	23	16	37	23	※
	問 題 地 域	683	100	※	19	18	41	21	1
	住 宅 地 域	680	100	1	26	14	33	26	※

注 ※印は1%未満を示す。

(2) 男女別、年齢別

男女別	年 令 別	回 答		な く な る	少 な く な る	ふ え る	か わ り な い	わ か ら な い	無 回 答
		実数	数 %						
男	総 数	1357	100	1	25	23	41	10	※
	20才-24才	137	100	—	23	17	48	12	—
	25才-29才	163	100	1	22	20	41	15	1
	30才-39才	413	100	2	25	22	41	10	※
	40才-49才	345	100	1	29	21	42	7	—
	50才-59才	297	100	1	22	31	37	9	—
	不 明	2	100	—	50	—	—	50	—
女	総 数	1363	100	1	23	16	37	23	※
	20才-24才	143	100	2	22	8	38	30	—
	25才-29才	184	100	1	25	12	38	24	※
	30才-39才	432	100	1	22	16	36	24	1
	40才-49才	377	100	1	22	20	36	21	—
	50才-59才	221	100	1	23	18	32	26	※
	不 明	6	100	—	7	7	13	13	—

注 ※印は1%未満を示す。

さらに、5つの社会的条件をあげて、そのそれぞれとの関係で売春行為の減少又は増加についての判断をみるとつぎのとおりである。

① 取締りを強化すればどうか。

対象者の5割前後（男49%、女57%）が「少なくなる」と答えており、これに「なくなる」（男3%、女4%）と答えているものをあわせると過半数のものが取締りを強化すれば売春行為はなくなっていくだろうと考えている。他は「かわりない」（男48%、女30%）、「ふえる」（男4%、女2%）、「わからない」（男5%、女7%）である。（第4.3表参照）

第4.3表 取締りを強化すれば売春行為は少なくなると思うか

男女別	地域別	回答	総数		なくなる	少なくなる	ふえる	かわりない	わからない	無回答
			実数	%						
男	総数		1357	100	3%	49%	4%	38%	5%	1%
	問題地域		678	100	6	45	5	38	5	1
	住宅地域		679	100	1	52	3	38	5	1
女	総数		1363	100	4	57	2	30	7	※
	問題地域		683	100	4	55	3	32	6	※
	住宅地域		680	100	4	59	1	27	9	※

注 ※印は1%未満を示す。

② 経済がもつと豊かになればどうか。

対象者の5割近く（男45%、女49%）が「少なくなる」と答えており、これに「なくなる」（男女とも6%）と答えているものをあわせると5割強のものが経済が豊かになれば売春行為はなくなっていくだろうと判断している。他は「かわりない」（男28%、女24%）、「ふえる」（男13%、女9%）、「わからない」（男7%、女12%）である。（第4.4表参照）

第4.4表 経済がもつと豊かになれば売春行為は少なくなると思うか

男女別	地域別	回答	総数		なくなる	少なくなる	ふえる	かわりない	わからない	無回答
			実数	%						
男	総数		1357	100	6	45	13	28	7	1
	問題地域		678	100	6	41	16	30	6	1
	住宅地域		679	100	6	50	11	26	7	※
女	総数		1363	100	6	49	9	24	12	※
	問題地域		683	100	6	43	11	28	12	※
	住宅地域		680	100	6	55	7	21	11	※

注 ※印は1%未満を示す。

⑤ 男女の交際がもつと自由になればどうか。

対象者の4割前後(男4.1%、女3.7%)が「かわりない」と答え
えており最も多い。ついで多いのが「少なくなる」で3割前後(男
3.3%、女2.6%)をしめている。また、「ふえる」と答えている
ものは1割前後(男1.1%、女1.0%)である。(第45表参照)

第45表 男女の交際がもつと自由になれば売春行為は
少なくなると思うか

男女別	地域別	回答	総 数		な く な る	少 な く な る	ふ え る	か わ り な い	わ か ら な い	無 回 答
			実数	%						
男	総 数		1,357	100	3%	33%	11%	41%	12%	※
	問題地域		678	100	3	31	12	40	13	1
	住宅地域		679	100	2	35	10	42	11	※
女	総 数		1,363	100	3	26	10	37	24	※
	問題地域		683	100	3	26	12	39	23	※
	住宅地域		680	100	3	29	9	35	24	※

注 ※印は1%未満を示す。

⑥ 人権尊重の思想がもつと徹底すればどうか

対象者の過半数(男5.9%、女3.3%)が「少なくなる」と答え
ており最も多い。ついで多いのが「かわりない」(男2.5%、女2.0
%)で2割強をしめている。また、「なくなる」と答えているもの

も1割強(男女とも7%)あり、人権を尊重する思想の徹底を必要
条件に考えているものが約7割をしめている。(第46表参照)

第46表 人権尊重の思想がもつと徹底すれば売春行為は
少なくなると思うか

男女別	地域別	回答	総 数		な く な る	少 な く な る	か わ り な い	わ か ら な い	無 回 答
			実数	%					
男	総 数		1,357	100	7%	59%	25%	9%	※
	問題地域		678	100	8	55	27	10	※
	住宅地域		679	100	7	62	23	7	1
女	総 数		1,363	100	7	63	20	10	※
	問題地域		683	100	8	59	27	6	※
	住宅地域		680	100	7	68	13	12	※

注 ※印は1%未満を示す。

⑦ 社会保障がもつと進んだらどうか

対象者の7割強(男7.2%、女7.3%)が「少なくなる」と答え
ており、「なくなる」と答えている約1割(男1.1%、女9%)の
ものをあわせると8割以上が社会保障が確立されれば売春行為もな
くなっていくだろうと考えている。他は「かわりない」(男1.5%、

女10%)、「わからない」(男4%、女8%)である。(第47表参照)

第47表 社会保障がもつと進んだら売春行為は少なくなると思うか

男女別	地域別	総 数		なくなる	少なくなる	かわらない	わからない	無回答
		実数	%					
男	総 数	1357	100	11	72	13	4	※
	問題地域	678	100	10	68	16	6	※
	住宅地域	679	100	11	75	11	3	※
女	総 数	1363	100	9	73	10	8	※
	問題地域	683	100	9	68	14	9	※
	住宅地域	680	100	10	78	6	6	※

注 ※印は1%未満を示す。

風 紀 に つ い て の 意 識

意 識 調 査 結 果 報 告

昭和37年8月10日 印刷

昭和37年8月15日 発行

発行者 労働省婦人少年局

印刷者 興 商 会